

1 山形県の教育

- 目指す教育
- 目指す教師像
- 特色ある教育



学校、児童・生徒、教員			
校種	学校数	児童・生徒数	教員数
小学校	221	46,867	3,790
中学校	93	25,805	2,183
義務教育学校	3	1,191	119
特別支援学校	13	1,146	788
高等学校	43	17,650	1,851
計	373	92,659	8,461

令和5年5月1日現在(国立・公立)

学校には、国立を含む。教員には、養護教諭、栄養教諭、講師等を含む。



1 山形県の教育

山形県の目指す教育

第6次山形県教育振興計画

【基本目標】
「人間力に満ちあふれ、山形の未来をひろく人づくり」

【目指す人間像】
「いのち」をつなぐ人
学びを生かす人
地域をつくる人

〈テーマ〉 つなぐ ～いのち、学び、地域～

「いのち」をつなぐ人

自分の存在や生き方を大切にしながら、多様性や個性を受け止め、他者の生命や生き方を尊重する人。先人から自分へと受け継がれてきた生命を、次の世代につないでいく人。

学びを生かす人

学びを重んずることを通じて、知・徳・体・心・性を磨き、自ら考え主体的に行動し、変化や困難に直面しても柔軟かつ的確に対応できる人。多様な知能・価値を生かしながら新たな価値を生み出し、学びを人生や社会に生かす人。

地域をつくる人

郷土を愛し、地域とつながり続ける人。地域コミュニティの一員として、あるいは地域と機動的かつ多様な形で関わり、地域のよきや課題を主体的に捉え、地域の人と協働することを通して、地域の未来をつくる人。

広い視野と高い志を持って
(全体を責め基本姿勢)

夢や希望を持って、その達成に向け行動し続ける姿勢。地域の意から世界を見るなど広い視野で物事を考え、より高い価値の創造に意欲的に挑戦し続ける人。

1 山形県の教育

採用時に求める教員の姿

1. 児童生徒への深い教育愛と教育に対する強い使命感、責任感のある方
2. 明るく心身ともに健康で、高い倫理観と規範意識を備え、法令を遵守する方
3. 豊かな教養とより高い専門性を身につけるために、常に学び、自らを向上させる姿勢をもち続ける方
4. 山形県の教員として、郷土を愛する心をもち、人とのつながりを大切にして、地域社会においてよりよい学校や地域社会を築こうとする方

1 山形県の教育

特色ある教育

○教育やまがた「さんさん」プラン

少人数学級のメリットを生かしたきめ細やかな指導の充実により、個の能力を最大限に伸ばし、「わかる授業」「いじめや不登校のない楽しい学校」を目指す

○確かな学力の育成を目指した授業づくり

- ・「課題の設定」「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の一連のプロセスの充実
- ・児童生徒の**主体的・協働的な学び**を通した**思考力・判断力・表現力等の育成**
- ・「**個別最適な学び**」と「**協働的な学び**」の**一体的な充実**という観点から学習活動等の方向性を共有する

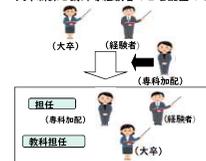
↓
資質・能力の育成

1 山形県の教育

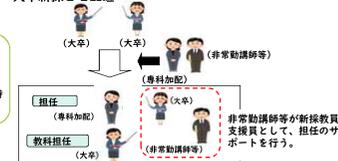
新採教員育成・支援事業 (小学校のみ)

(1) 5年生または6年生が3学級以上ある学校では、大卒新採教員1名を「教科担任(兼)学級副担任」とする

大卒新採と講師等経験者の2名配置の場合



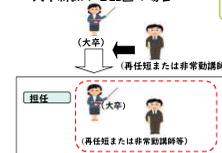
大卒新採2名配置の場合



・大卒新採教員は、教科担任(兼)学級副担任として、特定の教科の授業を受け持ちながら、学級経営や保護者対応等を行う。
・大卒新採教員は、教科担任として週17時間程度授業を行う。

(2) 上記以外の学校には、新採教員支援員(再任短または非常勤講師等)を配置する

大卒新採1名配置の場合



・大卒新採教員は、学級担任として、週14~17時間(低学年担任の場合は11~14時間)程度授業を行う。(免許保有の支援員が配置された場合)

《新採教員支援員の種類と業務内容》

- 再任用短時間勤務職員(専科加配)
 - ・大卒新採教員の授業を5~8時間程度代替し、負担軽減を図る。
 - ・大卒新採教員の学級等において、授業の代替や学習サポートを行う。
- 免許を持つ支援員(非常勤講師)
 - ・大卒新採教員の授業を5~8時間程度代替し、負担軽減を図る。
 - ・大卒新採教員の学級等において、児童の学習サポートや生活サポートを行う。
- 免許を持たない支援員(会計年度任用職員)
 - ・大卒新採教員の学級事務の補助等を行い、負担軽減を図る。
 - ・大卒新採教員の学級等の児童の学習サポートや生活サポートを行う。

1 山形県の教育

2 職場環境

- 働き方改革
- 新採教員育成・支援



学校の働き方改革

山形県公立学校における働き方改革プラン（第Ⅱ期・令和5～7年度）

【概要版】

第Ⅱ期の目標

- ① 半期における時間外在校等時間の月平均が80時間を超える教員数0人を目指す
- ② 年間における時間外在校等時間の月平均が45時間を超える教員数0人を目指す

実現 →

<働き方改革の目的>

- 教職員の心身の健康保持
- ワークライフバランスの実現
- 活き活きと働ける職場環境づくり

↓

教育活動の充実



2 職場環境

学校の働き方改革

第Ⅱ期の取組み方針と具体的な取組み内容

方針1 変革の意識改革

- ◎ 取組方針の策定
- ◎ 取組方針の周知
- ◎ 取組方針の進捗管理
- ◎ 取組方針の検証

取組方針1-1 PCCAサイクルの構築

- ◎ 学校における取組方針の把握と変革に向けた具体的な取組みの実施
- ◎ 管理職に対する人事評価（業績）における目標設定の徹底化

取組方針1-2 管理職や教職員の心身の健康確保と働き方改革の推進

- ◎ 校長会、教員会、校内研修等での啓発と先進事例の共有
- ◎ 保護者や地域に対する学校の働き方改革の周知

各 学 校

- 45時間超の教員に対する、管理職による業務改善の具体化指導
- 校長会・地域に対する働き方改革についての説明、周知の徹底
- 教員一人一人の時間外在校等時間の管理

方針2 長時間勤務の要因への対応

- ◎ ICTの有効活用
- ◎ 金沢立高等学校へのデジタル推進サービスの導入
- ◎ 研修機材と運用体制
- ◎ ICTを活用した授業準備の共有の推進
- ◎ 統合型勤務実態システムの生徒指導等への活用拡大

取組方針2-1 ICTの有効活用

- ◎ 金沢立高等学校へのデジタル推進サービスの導入
- ◎ 研修機材と運用体制
- ◎ ICTを活用した授業準備の共有の推進
- ◎ 統合型勤務実態システムの生徒指導等への活用拡大

取組方針2-2 業務の外部委託の推進

- ◎ 学校・教員が抱える業務の明確化・適正化の推進（学校運営の効率化、業務の外部委託の推進等）
- ◎ 教員業務支援員や部活動指導員等外部人材の配置の充実
- ◎ スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配置の充実

取組方針2-3 業務の外部委託の推進

- ◎ 学校・教員が抱える業務の明確化・適正化の推進（学校運営の効率化、業務の外部委託の推進等）
- ◎ 教員業務支援員や部活動指導員等外部人材の配置の充実
- ◎ スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配置の充実

取組方針2-4 業務の外部委託の推進

- ◎ 学校・教員が抱える業務の明確化・適正化の推進（学校運営の効率化、業務の外部委託の推進等）
- ◎ 教員業務支援員や部活動指導員等外部人材の配置の充実
- ◎ スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配置の充実

取組みの強化・浸透 → 「取組み状況チェックシート」にて進捗状況把握・確認

2 職場環境

学校の働き方改革

- 人材の確保及び外部人材の活用
 - ・ 教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)
 - ・ 校務補助員
 - ・ 部活動指導員
 - ・ スクールカウンセラー
 - ・ SSW(スクールソーシャルワーカー)
 - ・ SL(スクールロイヤー) など
- ICTの有効活用
 - ・ 校務支援システム
 - ・ デジタル採点
 - ・ 保護者等への連絡 など
- 教員の事務負担軽減
- 勤務時間に対する意識の啓発 など

2 職場環境

人材の活用

専門のスタッフ

- 事務・授業サポート
 - 教員業務支援員
 - 校務補助員
- 部活動
 - 部活動指導員
- 地域連携
 - 地域学校協働活動推進員
- 個別支援
 - スクールカウンセラー
 - スクールソーシャルワーカー
 - 特別支援教育支援員

県内すべての小中学校
特別支援学校(本校)

すべての高校

県内すべての中学校
高校11校

地域学校協働活動147本部
地域学校協働活動推進員285名

県内すべての小中等学校に派遣

県内すべての小中学校に派遣

高校14校

左記以外にも、市町村独自に

- ・ 学習支援
- ・ 特別支援
- ・ 教育相談
- ・ 読書活動
- ・ 日本語指導
- ・ 外国語指導 等々

を担当する方がたくさんいます。



2 職場環境

部活動ガイドライン

山形県における部活動の在り方に関する方針(抜粋)
(運動部:平成30年12月、文化部:令和元年7月策定)

休養日	平日1日以上、土曜日及び日曜日(週休日)1日以上
活動時間	平日2時間程度、週休日等3時間程度
長期休業中の休養日	ある程度長期の休養期間を設ける (連続した休養日の設定)

2 職場環境

3 待遇

- 給与等
- 休暇等
- 福利厚生



給与・手当

□初任給

	大学卒	大学院卒
山形県の行政職	205,700円	217,300円
山形県の教育職=教諭	235,352円	256,568円

教育職は教職調整額を含む。山形県内の大学卒初任給平均は¥205,700
初任給は職歴、経験年数を加算

□手当

- ・期末勤勉手当
4.45ヶ月分(令和5年度実績)を、6月と12月に分けて支給
- ・住居手当
例) 一ヶ月の家賃が¥50,000のアパートを借りた場合¥23,500
- ・扶養手当
扶養する配偶者、子、祖父母等がいる場合に支給
- ・通勤手当
通勤距離、通勤方法に応じて支給

他にも様々あります

3 待遇

休暇等

- 勤務時間 ・週あたり 38時間45分(1日あたり7時間45分)
・休日は、土曜日・日曜日、祝日、年末年始

□休暇・休業(主なもの)

休暇名	日数	備考
年次有給休暇	20日	翌年への繰り越しあり
夏季休暇	6日	7~9月に取得
リフレッシュ休暇	5日	満30、40、50歳
私傷病休暇	90日	生活習慣病休暇への引き継ぎあり
生活習慣病休暇	180日	がん等を含む生活習慣病や精神性疾患
忌引休暇	10日	1~10日の範囲
骨髄移植休暇	必要な期間	
災害休暇	必要な期間	非常災害発生時
婚姻休暇	7日	新婚旅行等で取得する方が多い

3 待遇



変更点

1. 大学推薦特別選考における推薦枠の拡大

<従来> 各大学、推薦対象となる各校種、教科・科目につき、原則1名
大学院を置く大学は、大学及び大学院から各1名(計2名)



<来年度> 各大学が推薦できる、推薦対象となる各校種、各教科・科目
の推薦枠を大学及び大学院から**5名まで拡大**
※3月下旬に大学推薦実施要項を各大学に送付済
※HPIにて公開済

4 試験の変更点

変更点

2. 現職教員特別選考における出願条件の緩和(年齢制限の撤廃)

<従来> 現職教員特別選考においては、50歳未満の方まで
R6教採では昭和49年4月2日以降に出生した方が出願可能



<来年度> 現職教員特別選考の**年齢制限を撤廃**
一般選考の年齢要件と同一となる。

4 試験の変更点

変更点

3. 東京会場の新設(一次試験・小学校対象)

<来年度>

○新たに**東京会場**を設置

- ・実施会場: **明治学院大学 白金キャンパス** を借用し実施予定
- ・対象校種: **小学校・特別支援小学部** (二次試験は山形での実施)
- ・実施試験項目: 教職教養・一般教養、小学校の全科目(専門)
- ・実施選考区分: **一般選考、大学推薦特別選考**(その他は山形会場のみ)

4 試験の変更点

変更点

4. 一次試験実施会場の変更

実施会場	R6実施校種・教科	R7変更後 実施校種・教科
上山明新館高	中高(保体・音を除く教科・科目) 養護教諭	実施しない
山形中央高	小学校・栄養教諭・中高(保体)	中高(保体)・養護教諭・3特A
山形北高	中(高)(音楽)	中(高)(音楽)
県教育センター	中(技術)	実施しない
山形工業高	—	小学校・中高(保体・音を除く教科・科目) 中(技術)・栄養教諭
東京会場	—	小学校(新規)

※小学校・中学校には、特別支援小学部、特別支援中学部を含む

4 試験の変更点

変更点 5. 大学3年次特別選考Aの新設

新たに大学3年次等における受験が可能

- ・対象校種：小学校・特別支援学校小学部
- ・試験日：令和6年7月13日(土)
- ・試験会場：山形中央高等学校での実施のみ(東京会場不可)
- ・実施試験項目：「教職教養・一般教養」

※「3年次等」とは、大学、大学院、短期大学の最終年次の1年前の年次です。
ただし、科目等履修生は含みません。

4 試験の変更点

変更点 大学3年次特別選考の選考区分

「大学3年次特別選考A」
→ 大学3年次等に出願する際の選考区分

「大学3年次特別選考B」
→ 大学3年次特別選考Aの通過者が、4年次等で出願する際の選考区分

注：「大学3年次特別選考B」は、3年次等に「大学3年次特別選考A」で選考を通過した者が、次年度の4年次等で一次試験を受験する場合の選考区分

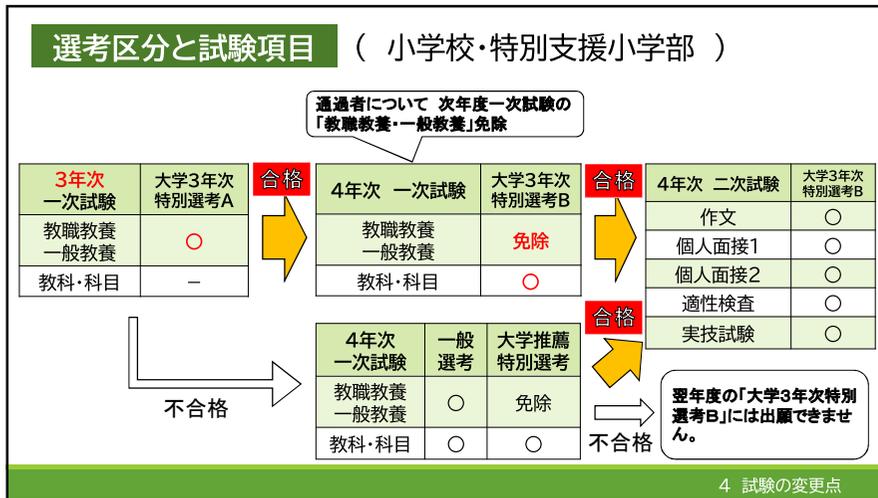
4 試験の変更点

選考区分と試験項目 □ 一次試験 (大学3年次)

	一般選考	特別選考					
		大学3年次特別選考A	現職・元職II 大学推薦	講師等 社会人	スポーツ	障がい者	現職・元職I 前年度一次
教職教養 ・一般教養	○	○	免除	—	免除	○	免除
小論文	—	—	—	○	○	—	
教科・科目	○	—	○	○	免除	○	
実技試験	○	—	○	○	免除	○	
面接	—	—	—	—	○	—	

- ・3年次は、「教職教養・一般教養」のみ受験する。
- ・通過者は、4年次の一次試験で「教職教養・一般教養」が免除される。

4 試験の変更点



変更点

6. 「教職教養・一般教養」のマークシート式への変更

	これまで	<令和7年度採用(令和6年度実施)>
形式	記述式	マークシート式
試験時間	80分	70分

4 試験の変更点



選考を行う校種等、教科・科目と採用見込数

校種等	教科・科目	採用数
小学校教諭 (小学校英語を含む)		約180名
中学校教諭	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語	約85名
特別支援 学校	小学部教諭	約30名
中学部教諭	中学部教諭の教科は中学校教諭に同じ	
高等学校	教諭	約35名
	助教諭	
養護教諭		約10名
栄養教諭		若干名

5 試験の概要

選考区分 ※合格者数はR5実施のもの

区分	志願資格	合格者数	
一般選考	特別選考の志願資格の方以外はこちら	181	
特別選考	講師等	本県の講師等(非常勤も含む)を、 通算13ヶ月以上	53
	元職教員Ⅰ・Ⅱ	本県又は他県等で正規採用として3年以上継続して勤務	9
	現職教員Ⅰ・Ⅱ	現在 、本県以外において正規採用として、 3年以上継続 ※3年目の方も可	30
	大学推薦	校種等、教科・科目で、大学より1名(規定による)	41
	大学3年次特別選考A・B	大学等の 最終年次の1年前 の年次の学生	
	社会人	教科・科目と関連する実務経験を、 5年以上継続 (英語、工業、情報)	1
	前年度二次Bランク	前年度一次合格、二次不合格でBランクの方	28
	障がい者	障がいのある方	0
	スポーツ	国際大会出場、全国3位以上の指導実績 ※高校の保健体育のみ	1

※ 元職・現職Ⅰ(高校以外)、元職・現職Ⅱ(高校)

5 試験の概要

試験項目・内容

試験	試験項目	時間	具体的内容
一次試験	教職教養・一般教養	70分	教育法規、教育心理等の教職教養 と 一般教養
	小論文	70分	指定されたテーマについて、1000字以内で論述
	教科・科目	90分	出願した教科・科目の内容 (実技がある教科・科目では、70分で実施)
	実技試験	-	一部の校種等、教科・科目のみ
二次試験	個人面接1・2	-	面接官数名と受験者との面接 「場面指導等」を含む
	作文	-	指定されたテーマについて、800字以内で作文
	実技試験	-	小学校と特別支援学校小学部 英語と音楽の選択

校種等、教科・科目、選考区分によって、試験内容は異なります。

5 試験の概要

選考区分と試験項目 ※R5年度実施のもの

□一次試験

	一般選考	特別選考					現職・元職Ⅰ 前年度二次Bランク
		現職・元職Ⅱ 大学推薦	大学3年次特別選考A	講師等 社会人	スポーツ	障がい者	
教職教養・一般教養	○	免除	○	-	免除	○	免除
小論文	-	-	-	○	○	-	
教科・科目	○	○	-	○	免除	○	
実技試験	○	○	-	○	免除	○	
面接	-	-	-	-	○	-	

5 試験の概要

選考区分と試験項目

□二次試験

	小学校・特支小学部		その他の校種等
	現職Ⅰ・元職Ⅰ	その他	
作文	○	○	○
個人面接1	○	○	○
個人面接2	○	○	○
適性検査	○	○	○
実技試験	免除	○	-

5 試験の概要

実技試験のある校種等

校種等、教科・科目		試験内容	
一次	中学校	音楽	・新曲視唱、新曲視奏、ピアノ演奏、歌唱指揮 ・随意曲選択演奏(歌唱または器楽)
		美術	・水彩画
	中学校 高等学校	保健体育	・次の領域から2領域選択 陸上競技、器械運動、球技(バレーボール、バスケットボール、サッカーのうち1種目)、武道(柔道、剣道のうち1種目)、ダンス
	中学校	技術	・木材加工、回路の製作 ※技術のみR4実施のもの
	中学校 高等学校	家庭	・調理、裁縫
		英語	・英語による面接
	養護教諭		・場面対応
二次	小学校 特支小学部	音楽(伴奏譜によるピアノ演奏) か 英語(英語による簡単な自己紹介と日常会話) のいずれかを選択	

5 試験の概要

作文(二次試験)のテーマ

※R5年度実施のもの

- これからの社会を生きていく子どもたちに対して、教師として掛けたい言葉とは
- 教師として、成長するために必要なことは
- 多様性に対する児童生徒の理解を育むために、大切なことは
- 学級における危機管理において重要なことは
- 子どもたちが人生において幸福や生きがいを感じられるための教育とは
- 子どもたちの個別最適な学びをどのようにするか

過去3年分の問題等は、山形県庁1階「行政情報センター」で閲覧・複写できます
電子申請による請求もできます
詳しくは→<https://www.pref.yamagata.jp/documents/31285/kakomon-get.pdf>

5 試験の概要

一次試験の配点

		教職教養・一般教養	教科・科目	実技試験
小学校、特支小学部		100点	150点	-
中学校 特支中学部	実技あり	100点	100点	50点
	実技なし	100点	150点	-
高等学校 特支高等部	実技あり	100点	200点	100点
	実技なし	100点	300点	-
	スポーツ特選	小論文120点、面接280点		
養護教諭		100点	100点	50点
栄養教諭		100点	150点	-

加点制度を利用した方は、高校は40点、それ以外は30点を上限に加点されます

5 試験の概要

二次試験の配点

	個人面接1	個人面接2	作文	実技試験
小学校、特支小学部	210点	140点	50点	50点
中学校、特支中学部 高等学校 養護教諭 栄養教諭	210点	140点	50点	-

あなたの配点

一次試験()点 : 二次試験()点

5 試験の概要

加点制度

加点要件	小	中	特小	特中	高
① 「数学」、「理科」、「音楽」、「保健体育」又は「英語」の免許状	10				
② 受験教科以外の中学校の免許状		10			
③ 受験教科以外に「情報」の免許状			10	10	30
④ 受験教科以外に「福祉」の免許状				10	10
⑤ 「世・日」受験者で、「公民」の免許状					5
⑥ 受験教科以外で「数学」または「理科」の免許状			10	10	
⑦ 特支5領域すべての免許状			10	10	
「視覚」、「聴覚」から1+「知的」「肢体」「病弱」から2			5	5	
⑧ 特支の免許状	10	10			10
⑨ 英検2級、TOEFL iBT 65点、TOEIC 600点	10		10		
⑩ 「英語」受験者で英検準1級、TOEFL iBT 80点、TOEIC 730点		10		10	10
⑪ 司書教諭の資格を持っている(見込での加点はしない)	5	5	5	5	5

R5実施の加点申請者=159名

5 試験の概要

併願制度

次の組合せ①～③において、一方の校種を第一志望、他方の校種を第二志望として出願できます。



- ・ポイント①
「小」と「特支小」の教科・科目の問題は同じ
「中」と「特支中」の教科・科目の問題は同じ
「中」と「高」の教科・科目の問題は同じ ※今年度は、国・英・家のみ
- ・ポイント②
第一志望を特支小中、第二志望を小中で併願する方は、**第二志望で必ず加点申請**できます

5 試験の概要

小学校英語

小学校の英語教育の充実を目指しています



- 英語の専科指導教員や学級担任として、小学校の英語教育を推進する役割を担う教員を採用
 - 志願要件は、小学校のほか、中または高の英語の免許所有
 - 試験項目は小学校と同じ。二次試験の実技試験は英語選択が必須
 - 始発期は学級担任としての力量を高めます。初任研は小学校の方と一緒に(初任～3年目)
- ※ 採用当初から「英語専科」や「英語の教科担任」とは限りません
- ※ 「小学校英語」で選考漏れとなった場合でも、「小学校」で採用される可能性があります

5 試験の概要

スケジュール

～合格へのロードマップ～



5 試験の概要

必要な手続き

- ① 「実施要項」「エントリーシート」をダウンロードする
※実施要項公表(予定)：令和6年4月19日
- ② 「電子申請」で必要事項を入力する
※電子申請期間(予定)：令和6年4月22日～5月12日
※ エントリーシートも電子データを電子申請システムに登録
(該当者のみ)
- ③ 「加点申請書」等をダウンロードし、作成する
※加点申請書、特別選考関係書類は郵送(簡易書留)で提出

5 試験の概要

必要な手続き

詳細は山形県HPをこまめにチェック!

ホームページの確認が抜け落ちそうで心配……

教員採用X
(旧Twitter)



山形県HP
(教員採用)



県HPの更新

↓
Xで
必ずポストします!

5 試験の概要

ダウンロードが必要な書類

対象者	ダウンロードが必要な書類	提出方法
全員	エントリーシート	電子申請システムに 電子データを登録
講師等特選受験者	職歴申告書	郵送 (簡易書留)
現職教員特選受験者	在職証明書★ 勤務状況調書(所属長作成)	
元職教員特選受験者	職歴証明書★	
スポーツ特選受験者	スポーツ特別選考調書	
大学推薦特選受験者	推薦書☆	
加点申請者	加点申請書	

★:採用された自治体の教育委員会が作成 ☆:大学の教授等が作成

5 試験の概要

一次試験

令和6年度実施予定日:令和6年7月13日(土)

- ① 会場
 - 山形中央高校 (各校種等の「保健体育」、養護教諭、小3特A)
 - 山形北高校 (各校種等の「音楽」)
 - 山形工業高校 (上記以外)
 - 明治学院大(東京会場) (小学校、特支小学部のみ)
- ② 日程
 - 午前
「教職教養・一般教養(小論文)」 → 「教科・科目」
 - 午後
「実技」 ※実技のない方は午前で終了

5 試験の概要

二次試験 令和6年度実施予定日:令和6年8月27日(火)~8月29日(木)

- ① 会場
□山形県教育センター
- ② 日程
□3日間のうち、指定された半日
□「個人面接1・2」*「作文」「適性検査」 *場面指導等を含む
□小学校と特小小学部の「実技」は、別の日に実施

小・特小の場合	8月27日(火)	8月28日(水)	8月29日(木)
パターンA	作文・面接・適性 (半日)	実技	-
パターンB	-	実技	作文・面接・適性 (半日)

5 試験の概要

6 電子申請
の
手順



電子申請で作成する
志願書・受験票

6 電子申請の手順

電子申請について

- まずは、「電子申請マニュアル」を準備しましょう！ HPからダウンロード。
- 電子申請を始める前に、準備しておくといもの
 - ① 顔写真の電子データ
 - ・スマホで撮ったものでも使えます。
 - ・コンビニ前に設置されている証明写真機でも、電子データをアプリに保存できる。
 - ・街の写真屋さんでも、「電子データください」と伝えればOK！
 - ② 入力済みのエントリーシート
 - ・今年度からWordで作成したものをアップすることができる！
 - ・「手書きが良い」という方は、書いたものをPDFなどにすればOK！

【注意】
写真は縦長のものを準備する。
一般的な証明写真のサイズ比
(縦4 cm、横3 cm) などがベスト

文字の濃さや太さに注意して！

6 電子申請の手順

電子申請について

- 「やまがたe申請」のページを開く
 (例)・要項の二次元コードやURLから開く
 (例)・教員採用試験のホームページのリンクから開く
 (例)・検索ページに「やまがたe申請」と入力し検索する。
- やまがたe申請の画面において、「採用試験」等のキーワードで検索して、出願ページにアクセスする。

6 電子申請の手順

電子申請について

- 必要事項を入力していく

- ①「利用者登録せずに申し込む」
 もしくは
 ②「利用者登録」

※どちらでも出願可能。
 ※IDやパスワードは必ず控えてください。



電子申請の手順

—入力全般にわたる注意—
アルファベット や **数字** は全て
「半角入力」

申請者氏名 必須
 申請者の氏名を入力してください。
 氏: 名:

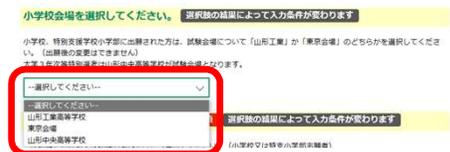
フリガナ (氏) 必須
 フリガナ (氏) を入力してください (半角カタカナのみ)。

フリガナ (名) 必須
 フリガナ (名) を入力してください (半角カタカナのみ)。

6 電子申請の手順

電子申請の手順

- 小学校・特支小学部の会場について
 一般選考又は大学推薦での出願の場合、山形工業高校と東京会場から選択。



- 小学校・特支小学部の実技について
 ・小学校、小学校英語、特支小学部の志願者
 →「英語」か「音楽」を選択 (必須)
 ※小学校英語の志願者は必ず英語を選択

小学校・特支小学部の二次試験実技 必須
 二次試験における実技試験の教科をひとつ選んでください。
 音楽
 英語

6 電子申請の手順

電子申請の手順

○併願出願について

・併願出願可能な校種・教科等の志願者は、第2志望を選ぶ。

(※希望しない場合はなしを選択)

併願出願を選択してください。 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

第2志望について回答してください。

なし

なし

特別支援学校中学部

高等学校

6 電子申請の手順

電子申請の手順

○加点申請について

加点における注意点

- ① 加点は「申請」
※資格・免許等があっても自動的に加点はされません。
- ② チェックを入れただけではダメ
→別途郵送による書類の提出が必要
- ③ 第2志望がある場合は、特に注意。
※第1志望で該当しなくても、第2志望で該当する場合も。

加点申請の有無

加点申請がある場合はチェックを入れてください。

有

6 電子申請の手順

電子申請の手順

○最終学歴(学校名、学部名などについて)

・すべての学校を完全に網羅できない

→該当する学校名が無い場合、「その他」を選択

・その後、正式名称を入力 ・年月日は半角数字で入力

最終学歴(学校名) **必須**

最終学歴(学校名)を選択してください。
 ・選択肢にない場合は「その他大」「その他短大」「その他高校」を選択してください。
 ・大学入学資格検定の合格者は「大検」を、高等学校卒業程度認定試験の合格者は「高卒認定」をそれぞれ選択してください。

絞り込み検索

(全検索を行う場合は、条件を空にしてください。)

6 電子申請の手順

電子申請の手順

○職歴

・職歴欄(10個)に入力しきれない時

→「職歴の続きがある」にチェック

職歴を参考様式で作成し、追加添付する。

※職に就いていない期間が1か月を超える場合は「在家庭」等と記入。

1か月に満たない場合は記入不要。

例 平成30年3月30日までの講師で任用され、
平成30年4月1日から再び講師で任用された。
→1日だけ空白がある場合などは、記入不要。

職歴1の始期

職歴1の始期を入力してください。
職に就いていない期間が1か月を超える場合は「在家庭」等と入力してください。

年 月 日

職歴1の終期

職歴1の終期を入力してください。

年 月 日

職歴1の事業所名・職名

職歴1の事業所名・職名を入力してください。
例1:○○株式会社(正社員)
例2:○○県○○市立○○小学校(専教講師)

職歴の続き

入力しきれない職歴がある場合はチェックを入れてください。

職歴の続きがある

6 電子申請の手順

電子申請の手順

○顔写真の登録

- ファイル名は「**氏名+生年月日(西暦)8桁**」
例「出羽雪若丸20010512」
- ※姓の間や生年月日との間にスペースは不要。
- ※写真は**縦長**の写真を準備。

顔写真の登録 必須

顔写真の電子データを添付してください。**(png, jpeg, jpgのみ)**
 ファイル名は「氏名+生年月日8桁」としてください。
 例：出羽雪若丸20030512.jpg

ファイルの選択 ファイルが選択されています
 削除

写真データのファイル形式はこの3つのみ可になっている。

○エントリーシートの登録

- ファイル名は「**ES+氏名+生年月日(西暦)8桁**」
例「ES出羽雪若丸20010512」

PCで作成可。ただし、その場合**様式**や**フォントサイズ**は**変更しないこと**。
 (A4片面1枚に収まるように作成) Word, PDF, JPGであれば登録可

6 電子申請の手順

電子申請の手順

- 全ての入力終了したら「確認へ進む」
- 完了するとPDFが出力できる。
→ 必ず出力して確認してください。
- 「整理番号」と「パスワード」は、登録されたメールアドレスへ送付されます。
受験票をダウンロード(印刷)する際に必要。
紛失しないように管理してください。

申込完了

R6教員選考試験志願書等作成 (test07) の手続きの申込を受けました。

下記の整理番号とパスワードを記載したメールを送信しました。

メールアドレスが誤っていたり、フィルタ等を設定されている場合、メールが届かない可能性があります。

整理番号	108703231824
パスワード	20b0CH896

6 電子申請の手順

→ もしも入力完了後に誤りに気づいたら…

- 「やまがたe申請」トップページから「申込内容照会」をクリックしてください。
整理番号とパスワードが求められますので、「申込完了通知メール」に記載の整理番号とパスワードを入力してください。
- 下の方に右のようなボタンがあります。「修正する」を押して、必要に応じて修正を行ってください。
修正した場合は、教職員課 採用試験担当へ電話連絡をお願いします。

「やまがたe申請」トップページから「申込内容照会」をクリック。
 →案内に従って修正する。(整理番号とパスワードが必要)
入力完了後に訂正した場合は必ず教職員課に電話にて連絡してください。

6 電子申請の手順

7 よくある質問

庄内地城
豚肉・味噌味

高橋地城
牛肉・しょう油味 (かくし味に味噌)

最上地城
牛肉・しょう油味

村山地城
牛肉・しょう油味

採用延期制度

- 合格後、期日までに**採用延期願**を提出すれば、合格の権利をもったままで大学院へ進学、または大学院での修学を継続できる
- 大学院在学中に、**合格した校種等の専修免許状を取得**すること
- 以下の条件(どちらか)にあてはまっていればよい

<条件>

1. 教職大学院、専修免許状の取得可能な大学院または修士号取得可能な海外の大学院に進学予定の合格者 → 2年延期
2. 大学院修士課程*1年次に在学中の合格者 → 1年延期

※ 延期期間終了までに専修免許状が取得できない → 採用無効

7 よくある質問

出願についてのQ&A

Q: 小学校の実技試験は、**音楽と英語**のどちらを選択した方が有利ですか？

A: どちらを選択しても、有利不利はありません。
自分の力をより発揮できる方を選択してください。

Q: 出願時に選択した実技試験(校種等)を、**後から変更**することはできますか？

A: できません。出願前によく検討して選択してください。

Q: **出願後**に英語資格の結果が届く場合は、加点申請を行うことはできますか？

A: できません。出願時点で英語資格の証明書の写しの提出が必要です。

Q: **司書教諭**講習の単位を年度内に取り終える予定です。加点申請を行うことはできますか？

A: できません。出願時点で司書教諭講習修了証書の写しの提出が必要です。

7 よくある質問

出願についてのQ&A

Q: 大学の通信課程で特別支援学校教諭の免許状を取得しようとしています。大学からは「**免許状取得見込証明書は出せない**」と言われましたが、加点申請はできますか？

A: (残念ですが) **できません**。

Q: 小学校の免許を所有しており、現在、大学の通信課程で特別支援学校教諭の免許状を取得しようとしています。**特支小学校小学部を志願**することはできますか？

A: **できます**。ただし、合格後、**免許状が取得できない場合は採用できません**ので御注意下さい。

Q: 前年度「小学校」で受験し、二次で不合格となりました。今年度は「**前年度二次Bランク特選**」で受験しようと考えていますが、「特支小学部」を**併願**することはできますか？

A: (残念ですが) **できません**。前年度特選は、**前年度と同じ校種を受験する場合に限り有効**です。

7 よくある質問

出願についてのQ&A

Q: 大学3年次特別選考Aで不合格となり、4年次に一般受験する場合、**可否に影響**はありますか？(大学3年次特別選考不合格が不利になることはある？)

A: 大学3年次特別選考の不合格が、4年次の受験で不利になることはありません。

Q: 3年次には小学校を希望しており、「大学3年次特別選考A」で出願しましたが、その後、**中学校への出願を希望した場合、「教職教養・一般教養の免除」は有効**ですか？

A: この場合は、4年次に一般選考や大学推薦特別選考で中学校を受験していただくことになります。「教職教養・一般教養」は免除になりません。

7 よくある質問

HPIは、更新されますのでチェックを！

「山形県」→「資格・試験・採用」→「山形県公立学校教員の採用について」

いつでも、何でも相談してください！！

山形県教育局教職員課(県庁13階)

教員採用試験担当(働き方改革推進)	023-630-3406
小学校・中学校・特別支援学校	023-630-2864
高等学校	023-630-2863

臨時教員(講師等)は常に募集中！！

365日常に募集しており、随時任用(採用)しています
登録票(履歴書)を提出した方と相談して、任用する学校が決まります
フルタイムから数時間、一年間から年間数日と様々な任用があります

最後のお知らせです

